

採用選考が始まりました

9月16日に新規卒業予定者の就職選考が始まりました。進路対象者92名（定時制は10名）のうち47名（定時制は10名）の挑戦が始まります。準備してきたことを存分に発揮してきてください。

さて、皆さんは「公正な採用選考」という言葉を知っていますか。雇用者側に対して、採用選考を受けた人が差別を受けたと感じさせてはならないという取組です。例えば、国や地域などの出身地や性別、年齢等により特定の人を除外したり、求人職種や業務に関係のないこと（思想や信条など）を聞いたりしてはいけません。



採用選考を受ける人が「差別」と感じるようなことがないようにすることです。**誰もが、社会の一員として「平等」と感じられること**は大切です。

もし、本人に責任のない事項（住宅状況、家族構成など）、本来自由であるべき事項（愛読書、思想など）、**不適切な選考**（求人票に記載のない健康診断、選考など）があった場合は、**必ず進路指導部の先生に報告**をしてください。

なお、このことで選考の合否に影響することはありません。**企業も学校も差別のない平等な社会を作るという目標は共通**です。だから、間違えて聞いてしまったこと等を確認する作業が必要です。皆さんも、選考を受ける側から、数年後にはする側になりますので、今のうちにしっかりと学んでおいてください。

東京都教育委員会も、毎年「公正な採用選考に向けて」というリーフレットが先生方に配布し、皆さんの活動を支えています。



ぶらり、あらこう散歩

【全日】就職試験を終え、力を出し切れなかったと肩を落とす生徒に「大丈夫だよ。これまで頑張ってきたのだから。」と励ます担任。努力は決して裏切らないという先生の強い思いが込められていました。**結果が目の前であったり、何年も先であったりします。**うれしい気持ちとともに、悔しい気持ちも大切です。悔しさをバネに成長することができるから。「大丈夫」には、「努力してきた君は、必ず成長することができる。」という先生の思いが詰まっていると感じました。

【定時制】「自分の思いは全て出し尽くしてきました。後悔はありません。」と話すのは、昨年夏にIT企業でインターンシップを行った生徒です。進路指導部の先生に報告をしている姿は、**最上級生としての落ち着きと自信が満ち溢れているように感じました。**他の生徒も「多分、合格しています。」などの言葉も聞かれ嬉しくなりました。これから採用選考を控えている生徒に「選考後の結果を報告に来てくれよ。」と伝えると、「**任せてください。良い結果を報告に行きます。**」と力強い返事。本当に、皆成長した。強くなった。うれしいです。



「未来を創る！彩る！荒川工業」

